

「NCC次世代複合材研究会」 CFRPにおける最新技術動向セミナー

炭素繊維強化プラスチック(CFRP)は、軽量で機械的特性に優れていることから、輸送機器分野での燃費向上や、排ガス規制、CO2削減対策として適用事例も増え、他分野にも用途が拡大し、世界各国で技術開発が積極的に進められています。このような状況の中で、NCCではCFRPの最新技術の動向に焦点を当て、セミナーを企画致しました。国内外における技術開発の最新動向及び自動車、航空機、ロボット業界の最新適用事例や課題の紹介に加え、リサイクルに関する取り組みについても紹介致します。CFRPのトレンドを知ることができる本セミナーに多数のご参加をお待ちしています。

日時： 令和 2 年 2 月 19 日 (水)

セミナー 13:00~17:10, 技術交流会 17:30~19:00

会場： 名古屋大学 理学南館 坂田・平田ホール

アクセス： http://www.nagoya-u.ac.jp/upload_images/campus_map_jp.pdf (理学南館は D2⑦)

開会の辞

13:00~13:05

名古屋大学 ナショナルコンポジットセンター 特任教授 石川 隆司

講演 1 国内外におけるCFRPの動向

13:05~13:45

(株)KADO 代表取締役社長 倉谷 泰成 様

日本においても自動車や航空機へのCFRP適用の高まりから熱硬化性/熱可塑性FRP共に量産技術が必要不可欠となっている。今回はJEC WorldやCOMPOSITES EUROPE他を視察して得た情報と共に国内外の動向を紹介する。

講演 2 K2019欧州視察報告

13:45~14:05

名古屋大学 ナショナルコンポジットセンター センター長 荒井 政大

10月にドイツデュッセルドルフで開催されたK2019における最新材料技術および加工技術等の動向及びデルフト工科大学ならびにドイツ航空宇宙センター(DLR)の研究視察について紹介する。

講演 3 自動車へのCFRP開発・適用総括と、将来モビリティへのFRPの展望

14:15~14:55

(株)本田技術研究所 先進技術研究所 主任研究員 平脇 聡志 様

自動車においてはこれまで燃費向上の為に究極の軽量化技術としてCFRPの開発に取り組んできた。世界の自動車メーカーがおこなってきた開発内容を総括し、Maasなど将来モビリティに対するFRPの展望を語る。

講演 4 航空機へのCFRPの適用事例と今後の課題

14:55~15:35

(株)SUBARU 航空宇宙カンパニー 技術開発センター 研究部長 荻巣 敏充 様

航空機へのCFRP適用は機体の軽量化要求と相まって拡大し、最新の大型旅客機では構造重量の50%を超えている。航空機へのCFRP適用化の歴史を紹介するとともに、今後の課題について述べる。

講演 5 ロボットへのCFRP適用への期待と課題

15:50~16:30

三菱電機(株) F Aシステム事業本部 主席技監 小平 紀生 様

日本の産業用ロボットの歴史は40年目を迎えた。圧倒的な世界シェアを誇っていたが、今や厳しい国際競争の時代を迎え、今後は基礎技術力がものをいう。よいは材料レベルのイノベーションにも期待がかかる。

講演 6 過熱水蒸気を利用したCFRPリサイクル技術の開発

16:30~17:10

(一財)ファイナセラムックスセンター 材料技術研究所 上席研究員 和田 匡史 様

CFRPリサイクルの必要性と動向について述べるとともに、過熱水蒸気を利用したCFRPからの炭素繊維回収技術と回収した繊維の再利用技術について紹介する。

技術交流会 坂田・平田ホール、エントランスホールにて

17:30~19:00

【お問い合わせ】 名古屋大学ナショナルコンポジットセンター事務局 (担当 小松)

TEL: 052-789-3282 Email: nccjapan@nuae.nagoya-u.ac.jp